

令和 8 年度入学試験問題

歴史総合・日本史探究

(文 学 部)

(注 意 事 項)

1. 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は 13 ページ，解答紙は 4 枚あります。「始め」の合図があったら，それぞれを確認すること。
3. 各解答紙の 2 箇所を受験番号を記入すること。
4. 受験番号は，裏面の記入例にならって，マス目の中に丁寧に記入すること。
5. 解答はすべて解答紙の指定欄に記入すること。
6. この教科は，100 点満点です。

受験番号の記入例

A	B	D	E	G	H	I	K	L	M	P	S	T	W	Z

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

歴史総合・日本史探究

〔 1 〕 次の A・B の文章を読み、問 1～問 7 に答えよ。(25 点)

A. 日本古代の律令国家は、自らを世界の中心である中華として位置づけ、東北地方に住む人々を蝦夷、九州南部の人々を隼人と呼び、夷狄として支配下に置いた。

東北地方では、日本海側には 712 年に出羽国がおかれ、ついで 733 年に 城が築かれた。太平洋側にも 7 世紀後半 の城柵に続けて、陸奥国府となる多賀城が築かれ、それぞれ出羽・陸奥の政治や蝦夷対策の拠点となった。

南九州の隼人は、天武・持統天皇の頃には服属し、8 世紀初めには薩摩国と 国がおかれた。隼人は律令国家による支配の強化に抵抗し、しばしば蜂起したが、いずれも鎮圧された。

問 1. 空欄 に入る語句を記せ。

問 2. 下線部(a)に関連して、坂上田村麻呂の征夷について、50 字以内で説明せよ。

問 3. 下線部(b)の時代の文化は、白鳳文化と呼ばれている。この文化を代表する壁画の名前を一つ記せ。

B. 奈良時代の藤原氏は、藤原広嗣の乱や藤原仲麻呂(恵美押勝)の乱などに関与したが、平安時代に入っても勢力が衰えることはなかった。特に、藤原北家の藤原冬嗣は、嵯峨天皇の信任を得て秘書官長にあたる となり、天皇家と姻戚関係を結ぶことで影響力を拡大した。

冬嗣の子の良房は、842年の の変で、伴(大伴)氏・橘氏などの勢力を退け、甥の道康親王の立太子に成功した。さらに、858年に良房は、娘の明子が生んだ惟仁親王を天皇に即位させて、みずからは摂政となった。

問 4. 空欄 に入る語句を記せ。

問 5. 下線部(c)・空海・橘逸勢は、唐風の優れた書を残して三筆と呼ばれた。このうち、空海の『風信帖』は、誰に送られた書状を収めたものであるか記せ。

問 6. 下線部(d)の天皇の名前を記せ。

問 7. 下線部(e)について、関白の職務との違いを 60 字以内で説明せよ。

〔2〕 次の文章を読み、問1～問4に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(25点)

8世紀初めに豊前国の宇佐神宮に祀られた八幡神は、まもなく朝廷の篤い信仰を獲得し、異国の脅威に立ち向かう神として位置づけられた。その経済基盤として多くの封戸が設定されたが、9世紀末以降は荘園へと変化していった。とくに荘園の設置が集中したのは、11世紀半ばから12世紀末にかけてのことである。
(a) 宇佐神宮は九州各地に形成された大規模な荘園群を経済基盤として、社殿・祭礼^(b)などを維持した。

13世紀になると、荘園を含む神領の経営が不安定になった。しかし、2度にわたる によって、八幡神への信仰が高まるなかで、鎌倉幕府が保護政策を実施したため、神領は一時的に回復した。

14世紀には、九州各地で動乱が繰り返され、神領の経営は再び困難となり、室町幕府が発した の適用対象にもなった。たとえば、1375年には「兵糧米を供出するため」という名目で、筑前国 ^{つなわけのしょう} 綱分庄の「領家職半分」が肥前国の国人に与えられている。

15世紀に入っても、国人クラスの武士たちによる侵略はやまず、宇佐神宮は^(c)豊前・筑前両国の守護を兼ねる大内氏に依存することで、神領の維持を図った。

16世紀半ば、石見国で産出された が西日本各地に広まり、貨幣として機能するようになると、宇佐神宮の神領では、年貢が で納められる場合もあった。16世紀末、豊臣政権によって神領の大部分が没収され、豊前国でも が実施された。この結果、豊前国6郡の大名である黒田長政から宇佐神宮に向野郷 ^{むくのこう} 300石の地が寄付された。

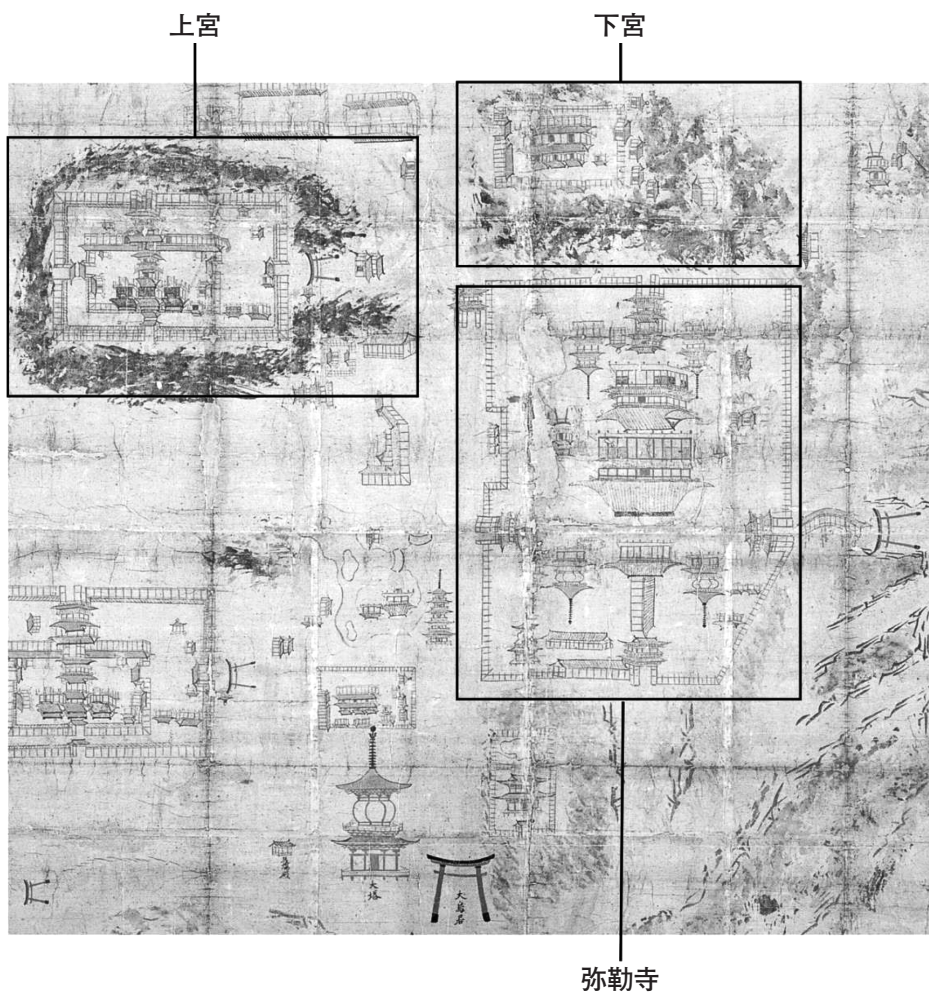
問 1. 空欄 ～ に入る語句を記せ。

問 2. 下線部(a)に関連して述べた文①～③について、古いものから年代順に正しく配列せよ。

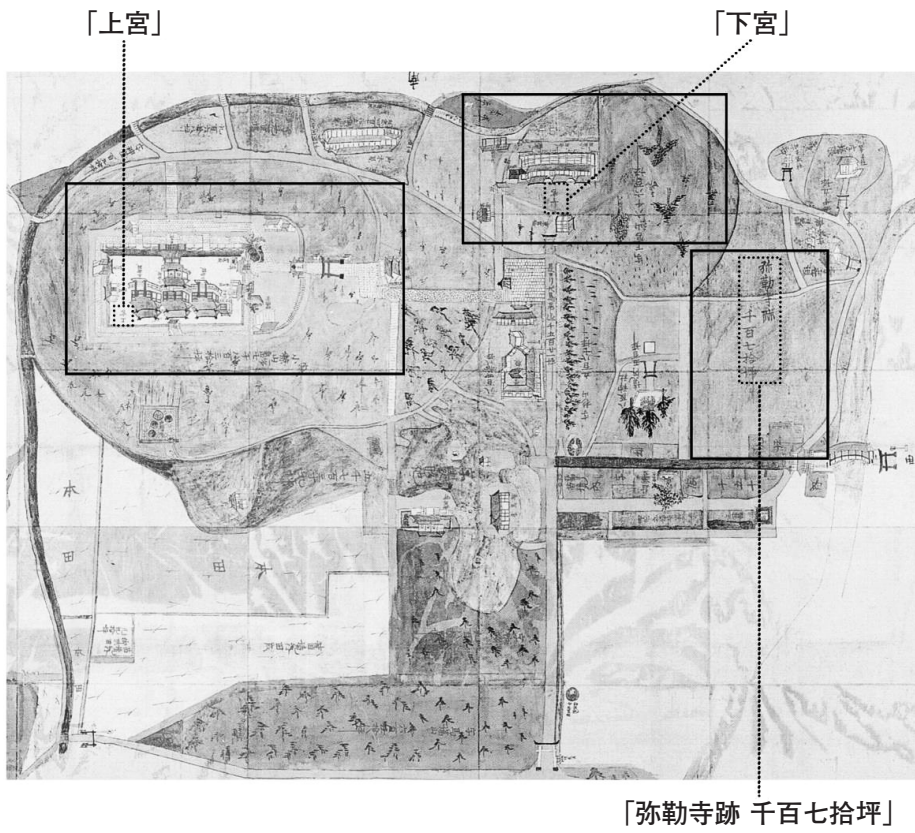
- ① 天皇家に数多くの荘園が集積され、京都では寺院の建設が活発となった。
- ② 荘園の管理に武士が関与することを朝廷が公認するようになった。
- ③ 荘園の証拠書類の審査が厳格化され、書類不備の荘園は停止されるようになった。

問 3. 下線部(b)に関連して、次の**絵図A・B**は、中世と近代における宇佐神宮の境内図である。境内図の比較から、宇佐宮(上宮・下宮)と弥勒寺との関係がどのように変化したと考えられるか、90字以内で記せ。なお、**絵図A・B**の実線は空間を示し、**絵図B**の点線は図中の文字を示したものであるが、実線で示した空間の縮尺・面積・位置の違いは考慮しなくてよい。

絵図A 「豊前国宇佐宮之図」(15世紀初め, 宇佐神宮蔵, 部分拡大)



絵図B 「宇佐八幡大神宮絵図」(1873年, 宇佐神宮蔵, 部分拡大)



問 4. 下線部(c)に関連して、下記の史料は、大内氏が山城国善法寺の寺領で守護請を実施していたことを示すものである。史料の内容について、90字以内で説明せよ。ただし、守護請という用語は使用せず、その概念を踏まえた記述とすること。

史料

九州御領五ヶ所正税進納注文

九十八貫百文は、豊前国池尻・金国・大野井、三ヶ所の正税。屋形の請分なり。

百九貫文は、豊前国荻田一ヶ所の正税。杉七郎の請分なり。

十五貫文は、周防国新野河内一ヶ所の正税。安富弾正の請分なり。

合わせて二百二十二貫百文、当納なり。

(中略)

右、明応甲寅分として、明応乙卯秋に収納する所、件のごとし。

高海(花押)

(唐招提寺蔵「八幡善法寺文書」)

〔注〕九州＝ここでは周防・豊前両国の守護である大内氏の分国を指す。

御領＝善法寺領。善法寺は宇佐弥勒寺領の一部を寺領としていた。

正税＝ここでは年貢を指す。

注文＝リスト。

屋形＝ここでは守護の大内義興を指す。

杉七郎＝杉重清。大内氏の家臣。豊前国の守護代。

安富弾正＝大内氏の家臣。

当納＝納入額。

明応＝年号。甲寅は1494年、乙卯は1495年。

高海(花押)＝善法寺の僧の名とサイン。

〔3〕 次の文章を読み、問1～問6に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(25点)

近世の日本をとりまく国際環境が、国内の政治・経済・社会に与えた影響は様々である。大航海時代のなかでポルトガルがアジアで勢力を伸ばすと、16世紀の中頃、鉄砲とキリスト教が日本に伝わった。キリスト教は多くの日本人によって受容されたが、豊臣秀吉はバテレン追放令を出して、宣教師の国外追放を命じた。大陸では、明の力が衰退しており、秀吉は、文禄・慶長の役という朝鮮への侵略戦争を起こした。

関ヶ原の戦いが起こった1600年、オランダの船 号が、豊後に漂着した。1609年には平戸にオランダ商館が設けられ、1613年には、イギリスも平戸に商館を開いた。この年、伊達政宗は、家臣の支倉常長をヨーロッパへと派遣している。

1638年、島原・天草一揆が終結し、その翌年、ポルトガル船の来航が禁止され、キリスト教の弾圧が強化された。また、1641年には、平戸のオランダ商館が長崎出島へと移転した。この頃より、オランダ商館長は と呼ばれた海外情報に関する報告書を幕府に提出している。

蝦夷地に目をむけると、1669年、 を中心としたアイヌ集団が蜂起したが、鎮圧されている。そののち、1792年、ロシアの使節ラクスマンが根室に来航すると、幕府にとってロシアとの関係は大きな国際問題となった。

19世紀以降、幕府・諸藩は、近代的な科学・軍備の導入に努めるようになった。調所広郷の改革によって財政再建に成功していた薩摩藩では、島津齊彬により、反射炉・造船所などが建造された。こうして近代的な軍備を有した薩摩藩は、イギリスと交戦し、大きな被害を受けたが、両者の関係は次第に緊密なものとなった。

- 問 1. 空欄 に入る語句を，空欄 に入る人名をそれぞれ記せ。
- 問 2. 下線部(a)は，豊臣秀吉が筑前国箱崎にいた 1587 年に出された。この年に秀吉が九州に出陣した理由を，25 字以内で説明せよ。
- 問 3. 下線部(b)が立ち寄ったノビスパンが示す現在の地名(国名)を記せ。
- 問 4. 下線部(c)に加えて，幕府は日蓮宗不受不施派も弾圧した。不受不施派が幕府から弾圧される要因となった教義を，40 字以内で説明せよ。
- 問 5. 下線部(d)の際，ロシアに漂着した日本人が送還された。のちに，この日本人の情報をもとに『北槎聞略』が作成されている。この日本人の名前を記せ。
- 問 6. 下線部(e)の内容を，次の史料にもとづき，90 字以内で説明せよ。

史料

文化の頃より藩中の費用連年多く，国用日に月に欠乏，大坂ならびに京地の負債増加し，殆んど五百万両余に相及び，(中略)然るに，坂地の商估浜村孫兵衛等二三の知己を得，熟談して新組銀主を設立するの策を立て，第一南島生産の砂糖を資本にして(中略)国用を支弁する方法を立て，其の処置厳密にして，十四五か年間に別紙控留の通り，積金を成せり。

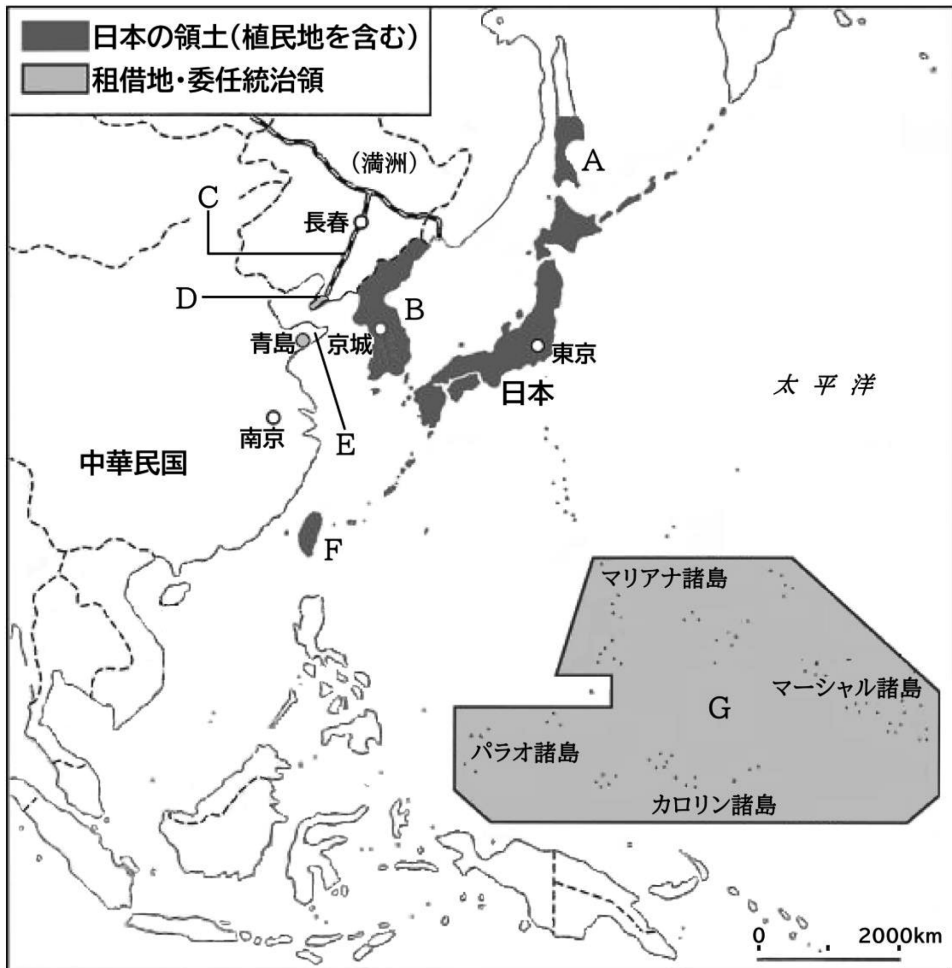
(「調所広郷履歴」)

〔注〕 国用＝藩の財政。

商估＝商人。

控留＝控留書，控書。

- 〔4〕 下の地図は、1920年の大日本帝国を示したものである。この地図を見て、問1～問8に答えよ。(地図・史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(25点)



『詳説日本史 改訂版』(山川出版社, 2021年)などをもとに作成。

問 1. A・B・F・Gについて、日本が一元的に統治することになった時期の古いものから年代順に正しく配列せよ。

問 2. Bの地域で起きた出来事①～④を古いものから年代順に正しく配列せよ。

- ① 植民地化に抵抗して義兵運動がおこった。
- ② 姓名を日本風に改める創氏改名が進められた。
- ③ 憲兵警察を廃止するなど、武断政治を改め文化政治をおこなった。
- ④ 三・一独立運動が全土で広がった。

問 3. Cの鉄道で張作霖が爆殺された当時の日本の総理大臣の名前を記せ。

問 4. 租借地Dの名称(州名)を記せ。

問 5. 第一次世界大戦に参戦した日本は、ドイツ軍を破り、Eを占領した。その後のEの経過について、以下の語句をすべて使い、80字以内で説明せよ。

パリ講和会議、二十一カ条の要求、五四運動

問 6. Eの権益はワシントン会議で日本から中国へ返還された。この時に結ばれた中国の主権尊重を謳った条約を記せ。

問 7. 日本がFを領有した後、列強は続々と清国に進出した。列強とその勢力圏の組み合わせのうち、間違っているものを一つ選べ。

- ① ロシア—満洲
- ② イギリス—揚子江沿岸
- ③ フランス—膠州湾
- ④ 日本—福建省

問 8. Gは日本の委任統治領である。委任統治という制度について、下記の史料を参考にしながら、90字以内で説明せよ。

史料

第二十二条 今次ノ戦争ノ結果従前支配シタル国ノ統治ヲ離レタル殖民地及領土ニシテ近代世界ノ激甚ナル生存競争状態ノ下ニ未タ自立シ得サル人民ノ居住スルモノニ対シテハ、該人民ノ福祉及発達ヲ計ルハ、文明ノ神聖ナル使命ナルコト、及其ノ使命遂行ノ保障ハ本規約中ニ之ヲ包容スルコトノ主義ヲ適用ス。

此ノ主義ヲ実現スル最善ノ方法ハ、該人民ニ対スル後見ノ任務ヲ先進国ニシテ資源、経験又ハ地理的位置ニ因リ最此ノ責任ヲ引受クルニ適シ、且之ヲ受諾スルモノニ委任シ、之ヲシテ連盟ニ代リ受任国トシテ右後見ノ任務ヲ行ハシムルニ在リ。

(「国際連盟規約」『日本外交年表並主要文書』)

